

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 進学重視型単位制の学校として、50分7校時の日が週4日、朝補習・土曜補習なしの体制に満足している生徒が、70%以上いる。	① ステップアップサポート事業を活用し、幅広い学力を付けさせる授業の実践を行うとともに、定期課題や休業中の課外授業等の改善を図る。	A	B	授業改善推進委員会を中心に今後も、更なる授業の充実に取り組んでいく。また、充実した教育課程の編成に、教科主任を軸に全職員で当たる。			
		② 「みらい学」を中心とした EAST Project に主体的に取り組む生徒が、70%以上いる。	② 関係機関と連携を図るとともに、生徒の進路意識と学習への動機付けを結び付けられるような工夫を行う。	A	A	キャリア教育推進事業を継続しつつ、ステップアップサポート事業とも連携し、「みらい学」のさらなる改善・充実を図る。			
		③ 自分の学校が好きだと感じている生徒が、80%以上いる。	③ 授業を充実するとともに、特別活動や部活動などの活性化を図る。	A	B	83.8%の生徒が好きと解答している。行事等で活躍の場を設けていく。			
	2 ボランティア活動に生徒が積極的に取り組んでいますか。	④ 学校周辺の清掃活動「わくわくボランティア」への参加生徒が、30%以上いる。	④ ボランティアの意義について理解を深めるようにし、多くの生徒の参加をうながす。	B	B	参加率が低下した理由を確認するとともに、社会貢献の大切さを理解させる指導を継続していく。			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤ 生徒が「分かる」授業の工夫が行われ、授業が「分かりやすい」と答える生徒が70%以上いる。	⑤ 言語活動を充実させ、アクティブラーニングを意識した授業展開を行う。また生徒が考えることのおもしろさを実感し、主体的に取り組めるようにする。	B	A	授業改善推進委員会やみらい学とも連携し、さらに授業の改善・充実を図る。また、言語活動の充実を目指し、学び合いの姿勢を身につける指導を充実する。			
		⑥ 自分のもつ力を発揮して、学習に意欲的に取り組んでいる生徒が、70%以上いる。	⑥ 習熟度授業や少人数授業のよさを十分に生かすとともに上位や下位の生徒にも対応した授業を行う。	B	B	成績下位者への指導を継続しつつ、成績上位者層が実力を発揮できる環境作りを検討する。			
	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦ 進路目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が70%以上いる。	⑦ 基礎基本の定着を図るとともにそれらを活用できるような指導を行う。また、生徒の言語活動の充実を図る。	B	B	各教科や各年次で定期考査や模擬試験等を有効に活用し、理解にとどまらず表現する力を身に付ける指導を行う。			
		⑧ 平日の学習時間が1時間30分以上の生徒が、70%以上いる。	⑧ 学習量調査や二者面談等を行い、生徒に学習への自覚をうながす。	C	C	授業の充実のためにも家庭学習が不可欠であることを理解せるとともに、学習量調査を活用し実態の把握を行う。			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨ 服装頭髪指導を登校時や集会時等に全職員で取り組む。	⑨ 各年次と生活指導係が中心となり、すべての職員が共通理解の下、統一的に服装頭髪指導に関わる。	A	A	現在の取組を継続していく。また、キャリア教育とも連携し、生徒の自己規制能力の育成を目指し、全職員で指導にあたる。			
		⑩ 月に1回大清掃を実施する。	⑩ 普段は時間が無くてできない部分の清掃を徹底する。	B	A	大掃除を定期的に行い、校内美化を一層向上させていく。			
		⑪ いじめの未然防止に努めるとともに、いじめの解消率が100%である。	⑪ アンケート等を実施し学校生活の実態把握に努めるとともに、二者面談等を適切に行う。さらに生徒会とも連携を図る。	A	A	人権教育も含め校内研修の充実を図る。また、全職員で生徒理解を図り、いじめの未然防止に努める。			
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫ 家庭と連携を図りながら、生徒の怠慢による遅刻を減らし、1日の平均遅刻者が全生徒の2%以下である。	⑫ 遅刻者記入カードの活用を図るとともに、遅刻常習者には個別の指導を行う。	A	A	玄関(登校時)指導を継続していく。また、キャリア教育とも連携し、生徒の自己啓発能力の育成を図る。			
		⑬ 自分の健康管理に気を遣って生活している生徒が、80%以上いる。	⑬ 「保健だより」で健康面を、「教育相談」や二者面談等で精神面を含む生徒の一般的な学校生活を支える。	B	B	熱中症(夏季)やインフルエンザ(冬季)、ノロウイルス等、各種感染症の予防指導を今後も継続して行う。			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑭ 担任と生徒の二者面談を年2回以上、さらに保護者を加えた三者面談を年2回(1・2年次は1回)行う。	⑭ 二者面談等において、本人の適性や進路希望を確認し、進路実現へ向けて支援する。	A	A	年間行事計画にとらわれることなく、積極的に面談等を実施していく。また、面談の研修等の充実を図る。			
		⑮ 進路通信を年5回以上発行する。	⑮ 時期や年次に応じて進路通信を効果的に発行する。	B	B	GSN メール連絡網を活用し進路情報が保護者のもとへ届くよう工夫する。			
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑯ 自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるように努力をしている生徒が、70%以上いる。	⑯ 「公開みらい学」、「大学訪問」などの際の事前事後の指導を徹底するとともにその成果と課題を検証する。	B	B	キャリア教育推進の事業成果を活かし、各分掌の行事が連携し、生き方・在り方を考えさせるよう工夫・改善を図る。			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑰ 家庭、地域社会が学校評価の「学校を開く努力」の項目に75%以上が肯定する。	⑰ 「公開みらい学」、学校説明会、「オープンスクール」、「図書館一般開放」などを効果的に実施するとともに、積極的、計画的に広報活動を行う。	B	B	職員・地域からも概ね支持されている。体育祭観覧やオープンスクール等をより充実させるとともに、広報活動の一層の充実を図る。			
		⑱ 広報紙「みらい」を年2回発行するとともに、学校のホームページを定期的に更新する。	⑱ 学校説明会等で広報紙を配布するなどして、本校の教育活動を紹介するとともに、ホームページを充実する。	B	B	志願者向けのWeb ページを充実させるとともに、学校説明会やオープンスクールで本校の状況を積極的にアピールする。			
	10 保護者、地域社会は学校の教育活動に理解を示してくれますか。	⑲ 保護者、地域社会が学校評価の「本校の努力」の項目に70%以上が肯定する。	⑲ 本校の教育活動について積極的に情報発信し、理解と協力を求める努力を行う。	B	B	学習・進学努力・交通マナーで評価を得られている。今後はスマートフォン利用のマナー指導も充実させる。			